

委員会活動報告書

委員長名 望月 聡一郎

【委員会名】 国家試験委員会	
【メンバー】 磯濱 亜矢子(吉備国際大学)、大高 のぶえ(湘南医療大学)、 ¥大谷 喜美江(四日市看護医療大学)、齋藤 公彦(福山平成大学)、中村 寿子(活水大学)、 ○播本 雅津子(名寄市立大学)、藤田 碧(秋田看護福祉大学) 担当副会長:井口 理(日本赤十字看護大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 保健師国家試験出題内容に関する意見をとりまとめ、厚生労働省に意見書を提出する。 2. 保健師国家試験の質向上に向けた検討および活動を行う。 3. 国家試験問題作成のための研修会等を実施し、教員の問題作成、クリティーク、ブラッシュアップする力を育成する。	
2025(令和7)年度	
達成目標	1. 第112回保健師国家試験に係る内容調査を会員校の協力を得て、国家試験問題の質向上に寄与する。 2. 養成校別保健師国家試験合格率の推移、問題内容調査結果の分析経過など、国家試験対策の基礎資料を蓄積していく。 3. 厚生労働省WEB公募システムへの問題登録への会員校からの問題・情報の登録を推進する。 4. ブロックからの国家試験に関する研修依頼に随時対応する等、会員校教員の問題作成の力量アップを図る。
活動報告	1. 第112回保健師国家試験の出題内容に関する会員校調査を実施した。73校(昨年度75校)の会員校から多数の意見を頂いた。調査内容は厚生労働省医政局看護課に意見書として提出した。会員校にはこの意見書を全保教HPに掲載して周知を図った。 2. 第112回保健師国家試験の環境・運営調査を実施した。852名(昨年度891名)の受験生から多数の意見を頂いた。調査内容は厚生労働省医政局看護課に意見書として提出した。会員校にはこの意見書を全保教HPに掲載して周知を図った。 3. 厚生労働省の国家試験問題WEB公募システムへの登録に取り組み、委員会から42件(昨年度33件)の登録を行った。今年度実施した作問に関する研修会の受講者も作問および登録に取り組み、研修会実施の成果の1つとなった。 4. 研修活動に取り組んだ。各ブロックにおける研修を3回、国家試験委員会企画による「作問チャレンジ実践編研修」をオンラインで実施した。研修会の参加者延総数は111名であった。 5. 委員会は7回開催した。随時メールでの意見交換を実施している。